

# Adobe Flex 3: チャートコンポーネントの基本と応用

- Flex 3 チャートの概要
  - チャートデータの概要
    - チャートのデータ型の概要
  - ウォークスルー 1: 最終的なアプリケーションについて
  - チャートおよびダッシュボードアプリケーションへの外部データのロード
    - 外部データアクセスオプションの概要
  - このコースでのデータの処理方法
  - Flex 3 チャートの概要
    - Flex 3 チャートのメリットの概要
    - Flex 3 チャートタイプの使用
  - チャートでの視覚的データの活用
    - チャート作成コンポーネントの使用
  - ダッシュボードの概要
    - ダッシュボードの基礎
    - ダッシュボードの操作性の定義
    - ダッシュボードアプリケーションでの Flex 3 の使用
- Flex 3 チャートの使用
  - チャートおよびタグの要素の理解
    - Flex 3 チャートの構成要素
    - チャートのタグの基本プロパティの概要
    - チャートの作成
  - 縦棒グラフおよび横棒グラフの概要
    - 縦棒グラフの使用
    - コード例
    - 横棒グラフの使用
    - コード例
  - ウォークスルー 1: 縦棒グラフおよび横棒グラフの使用
  - 折れ線グラフおよび面グラフの概要と使用
    - 折れ線グラフの使用
    - コード例
    - 面グラフの使用
    - コード例
  - ウォークスルー 2: 折れ線グラフおよび面グラフの使用

- 円グラフの概要および使用
  - 円グラフの使用
  - コード例
- ウォークスルー 3: 円グラフの使用
- プロットチャートの概要および使用
  - プロットチャートの使用
  - コード例
- ウォークスルー 4: プロットチャートの使用
- バブルチャートの概要および使用
  - バブルチャートの使用
  - コード例
- ウォークスルー 5: バブルチャートの使用
- ローソク足チャートのおよび HLOC チャートの使用
  - ローソク足チャートの使用
  - コード例
  - HLOC チャートの使用
- ウォークスルー 6: ローソク足チャートの使用
- チャートの書式設定
  - 軸コントロールの概要
    - 軸コントロールの使用
    - 軸コントロールのタイプの理解
    - 使用可能なプロパティ
    - コード例
    - CategoryAxis ラベルの書式設定
    - コード例: CategoryAxis labelFunction
    - 軸タイトルの追加
    - コード例
  - ウォークスルー 1: CategoryAxis の使用
  - <mx:LinearAxis>の使用
    - 範囲内の値の自動決定の概要
    - 使用可能なプロパティへのアクセス
    - LinearAxis ラベルの書式設定
    - 関数の例: LinearAxis labelFunction
  - ウォークスルー 2: LinearAxis の使用
  - <mx:LogAxis>の使用
    - 使用可能なプロパティへのアクセス

- コード例
- ウォークスルー 3: LogAxis の使用
- <mx:DateTimeAxis>の使用
  - 使用可能なプロパティへのアクセス
  - コード例
  - データポイントの値のカスタマイズ
  - DateTimeAxis ラベルの書式設定
- ウォークスルー 4: DateTimeAxis の使用
- チャートのデータヒントの使用
  - チャートのデータヒントの使用
- ウォークスルー 5: データヒントの使用
- dataTipMode プロパティの使用
  - コード例
  - mouseSensitivity プロパティの使用
  - コード例
- ウォークスルー 6: データヒントのインタラクションの調整
- チャートタイプの書式設定
  - 折れ線グラフの系列のフォームの指定
- ウォークスルー 7: LinerSeries フォームの操作
- 円グラフのラベルの書式設定
  - 円グラフへのラベルの追加
  - ラベルのテキストの変更
  - ドーナツグラフおよび分離円グラフの作成
  - perWedgeExpldeRadius の使用
- ウォークスルー 8: 円グラフの書式設定
  - legend コントロールの操作
  - legend コントロールの概要
  - 使用可能なプロパティ
  - Legend コントロールの使用
  - 例
- ウォークスルー 9: チャートへの凡例の追加
- 概念の適用
  - 書式設定の目的
- 複数の系列を含むチャートおよび ActionScript チャートの作成
  - 複数のデータ系列の概要
    - 1つのチャートでの複数の系列の追加

- ウォークスルー 1: データの複数の系列の追加
- 複数のチャート軸の使用
  - 単一のチャートへの複数の軸レンダラーの追加
- ウォークスルー 2: 複数のチャート軸の使用
- チャート系列の積み重ね
  - チャート系列の積み重ねでの type プロパティの使用
- ウォークスルー 3: チャートの積み重ね
- 1つのチャートでの複数の系列タイプの表示
  - CartesianChart の概要
  - 単一のチャートへの複数の系列タイプの追加
  - 例
- ウォークスルー 4: 複数の系列タイプの表示
- ActionScript によるチャートの作成
  - チャートコントロールの作成
  - 例
  - dataProvider の追加
  - 例
  - チャート系列の追加
  - 軸の書式設定
  - アプリケーションビューへのチャートの追加
  - ActionScript によるチャート凡例の追加
  - チャート凡例を追加する手順
- ウォークスルー 5: ActionScript でのチャートの作成
- 概念の適用
  - 複数の系列を含むチャートおよび ActionScript チャートの意味
- 高度なチャート作成技法の概要
  - チャート系列でのアニメーションの使用
    - SriesEffect の概要
    - 使用可能なチャートエフェクトの概要
    - チャート系列トリガの使用
    - 例
  - ウォークスルー 1: チャートおよびチャートエフェクトのアニメーション化
  - ユーザー操作の処理
    - チャートイベントの処理
  - ウォークスルー 2: ユーザー操作の処理
    - チャートデータポイントの操作

- dataToLocal の使用
  - ウォークスルー 3: チャートポイントデータの表示および解釈
  - チャート系列の動的な制御
    - 範囲に基づいたデータのフィルタ
    - コード例
  - ウォークスルー 4: 範囲の選択によるデータのフィルタ
    - dataProvider フィールドの変更
    - 例
    - 系列の動的な変更
    - 複数選択リストによるチャート dataProvider の制御
    - ドラッグ & ドロップによるチャート系列の追加
    - コード例
  - ウォークスルー 5: 実行時におけるチャートデータの変更
    - カスタムグラフィカルレンダラーの使用
    - 例
    - ChartItem オブジェクトの変更
    - コード例
  - ウォークスルー 6: チャート要素のカスタマイズ
  - 概念の適用
- チャートのスタイルの設定
  - チャートのスタイルの設定
    - チャートスタイルの設定および CSS
    - 継承されたチャートスタイルの概要
  - ウォークスルー 1: チャートコンポーネントへの CSS の適用
  - ふち取りの使用
    - パディング(余白)の使用
    - 軸スタイルの使用
    - 軸ラベルの回転
    - CSS へのフォントの埋め込み
    - ラベルへのフォントの割り当て
    - AxisRenderer の作成
    - labelRotation の設定
  - ウォークスルー 2: パディング、ふちどり、および スタイル軸の使用
  - チャート系列のスタイルの設定
    - 系列の塗りの色に対する CSS の使用
    - 単色の塗りを設定する MXML の例

- グラデーション塗りを設定する MXML の例
- 線の定義
- ウォークスルー 3: チャート系列のスタイルの設定
- チャートグリッド線のスタイルの設定
  - チャートグリッド線の追加および MXML によるスタイルの設定
  - 例
  - CSS によるグリッド線へのスタイルの適用
  - 例
- ウォークスルー 4: チャートグリッド線の追加およびスタイルの設定
- 概念の適用
  - チャートスタイルの設定の概要

